※令和４年度以降入学生用

学校番号	311

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編言語文化」（東京書籍）						
副教材等	「新編言語文化　学習課題ノート」（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につけることを心がけましょう。
・課題に対して、自ら考え、話し合いや文章記述、発表などを取り入れ、周りの人と協働で考える活動を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかり身につけてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、適切に心情などを理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身につけてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

言葉による味方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することをめざす。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けるとともに、伝統的な言語文化に対する関心を持ち、理解を深め、国語を尊重することができるようにする。
(2) 言語感覚を磨き、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、目的や場にふさわしい語句を選んで適切に思いや考えを表現したり、的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解したりすることができるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

点観	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使っている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活での他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深め、積極的に他者と関わり、目的や場にふさわしい語句を選んで適切に思いや考えを表現し、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。 ［教材］ さくらさくらさくら	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	登場人物の心の動きを読み取り、人間関係の在り方について考える。 ［教材］ 雨漏りの音	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c:進んで本文の内容や構成、展開を的確に捉え、学習課題に沿って、登場人物の心の動きを読み取り、人間関係の在り方について考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る。 ［教材］ 絵仏師良秀	a：歴史的仮名遣いを学び、訓読のきまりを理解することができる。 b[読]：古典特有の表現について理解し、作品の背景を知り、他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 c：積極的に内容の理解を深め、学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査 音読テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
二学期	詩歌に表現されるものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 ［教材］ 詩歌　うたの心	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあると理解することができる。 b[読]：文章の種類を踏まえ、作品の内容や構成、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 c：進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査 音読テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。 ［教材］ とんかつ	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。 ［教材］ 羅生門	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
三学期	漢詩とそれを踏まえた古文を読み、漢文が日本文学に与えた影響について知る。 ［教材］ ・読の基本 ・詩と日本文学	a：漢文の特色を知り、訓読の決まりを理解するとともに、漢詩に親しむことができる。 b[読]：文章の種類を踏まえ、作品の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に理解することができる。	ワークシート 定期考査 音読テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		c:進んで漢文の特色や訓読の決まりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えようとしている。			
	歌物語に描かれている内容について叙述を基に的確に捉える。 ［教材］ 伊勢物語	a:作品の歴史的背景や地理を通して内容を読むことで、古典の世界を身近に感じ、親しむことができる。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について、自分の考えを持つことができる。 c:進んで歌物語の特徴や表現の仕方を理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 音読テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　0　　)時間

・書くこと　　…　(　　15　　)時間

・読むこと　　…　(　　55　　)時間